

出穂1か月前までに「中干し終了」！！

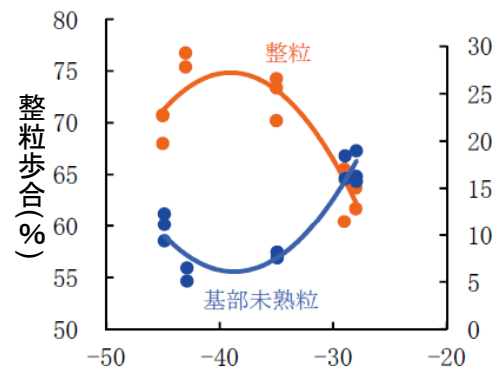
○十分に地固めができたほ場では、根を傷める前に中干しを終了し、間断かん水を開始しましょう。

1 中干し終了が遅れると、整粒歩合が低下

○中干しは遅くとも出穂1か月前までに終了しましょう。

【出穂1か月前のめやす(平年)】
 平場：7月7日 山場：7月12日

- 「中干し終了の遅れ」や「強すぎる中干し」は、**穂肥を吸う大切なうわ根を傷めます。**
- 高温年では、中干しの終了が出穂時期に近づくほど**整粒歩合が低下**します。

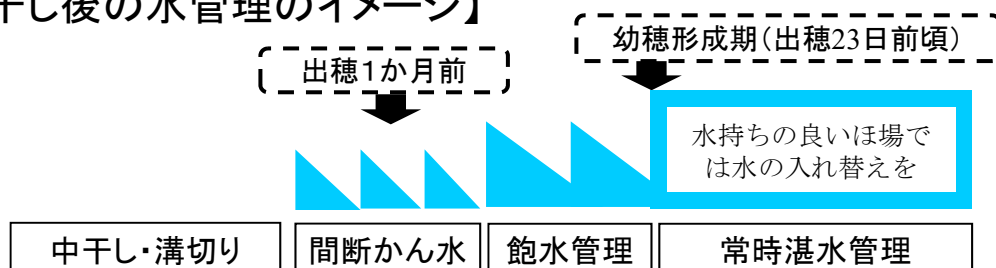


中干し終了時期と整粒歩合
(平成22年)

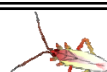
2 中干し終了後の水管理

- 急な湛水は根を傷めますので、中干し終了後の水管理は、間断かん水から飽水管理、常時湛水管理と徐々に移行して下さい。
- 幼穂形成期(出穂 23日前)からは、**常時湛水管理**として下さい。

【中干し後の水管理のイメージ】



病害虫情報



○病害虫発生予察調査でカスミカメ類が確認されています。農道・畦畔の草刈りや水田内雑草(ヒエ、ホタルイ)除去を徹底しましょう。

※水路法面作業では刈草を用水や河川へ流さないようにしましょう。

○いもち病が発生しやすい天候になりますので、いもち病に弱い品種や生育過剰のほ場では、発生に注意しましょう。

不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください。携帯メール会員募集！営農センターへお問い合わせください。